

1 テロ情勢

現時点で当地において邦人や日本権益を狙ったテロの具体的脅威情報には接していないが、8月5日、リアウ諸島州バタム島においてシンガポール等へのテロ攻撃を計画していた男5人が警察に逮捕された。また、8月28日、北スマトラ州メダン市では、市内のカトリック教会で、爆発物を所持した17歳の少年が神父を刃物で切りつけ負傷させる事案が発生している。日頃から危機意識を持ち、テロの標的となりやすい警察・政府・軍関係施設、観光・リゾート施設、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連行事（施設）などを訪れる際は、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自ら安全確保に努めることが必要である。

2 治安情勢

(1) メダン市及び近郊では、ひったくり、オートバイ盗、空き巣等の窃盗事件のほか、路上強盗、侵入強盗等の凶悪犯罪や薬物犯罪も多く発生している。9月中、メダン市内において、ひったくりにかばんを奪われるのを防ごうとした被害者が路上に転倒し死亡した事案が2件発生していることから、外出の際は、徒歩やベチャ（三輪タクシー）の使用は避け、比較的安全な自動車での移動を心がけるなど十分に注意を払い、犯罪被害に遭った際は、身の安全を最優先にした対応が必要である。

(2) 邦人被害事案

今期、邦人被害事案の認知はない。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 7月29日、北スマトラ州タンジュンバライ市において、モスクから流れるアザーン（礼拝の呼びかけ）の音がうるさいと近隣住民の中国系女性が抗議したところ、これに反発したイスラム教徒らの集団が暴徒化し、抗議者の自宅や仏教寺院等を放火するなどの暴動に発展した。

イ 9月2日、メダン市内で42歳の女性がオートバイ二人乗りの男にかばんをひたたくられて路上に転倒し、病院に搬送されたが数日後死亡した。また同月22日にもベチャ乗客の24歳女性が、二人乗りオートバイの男らにかばんをひたたくられ、路上に転倒し死亡した。警察は、上記2件の強盗致死を含む43件の路上強盗容疑で、10代後半から20代の男3人を逮捕した。

3 自然災害

シナブン山（北スマトラ州カロ県）は、近年火山活動を活発化させ、これまでも噴火を繰り返しており、防災当局は、警戒レベルを最高の4として火口から半径7キロを立入禁止区域としている。同山では現在も散発的に噴煙があがっており、同山東側ブラスタギ周辺では降灰が見られている。風向き次第ではクアラナム国際空港の航空機の離発着に影響が生じる可能性があるため、関連情報に注意が必要である。

4 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 8月5日、リアウ諸島州バタム島でシンガポール等へのテロ攻撃を計画していたとして男5人が逮捕された。男らはバタム島外周部からシンガポール等に向けてロケット弾を発射する計画を立てていた。
- (2) 8月28日、北スマトラ州メダン市内ドクトルマンスール通りの聖ヨセフ・カトリック教会で日曜ミサの最中、爆発物を所持した17歳の少年が神父を刃物で切りつける事件が発生した。少年はミサの参加者らに取り押さえられ、警察に逮捕された。少年の自宅からは手製爆弾の材料などが見つかっている。

5 誘拐・脅迫事件発生状況
邦人関連情報はない。

6 対日感情
基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

7 日本企業の安全に関する諸問題
関連情報はない。

以 上